

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑩	学校名	大淀養護学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 交通安全しおり配布 (2) 体育大会垂れ幕作り
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	特別活動として実施。ふれあいを大切にし、人を思いやる心や自分たちの学校だという気持ちを育む。意思表示できる力、自己決定できる力を養う。集団の中でみんなという楽しさや自分の役割・ルールなどを知り、社会性を育てる。
連携・協働相手	(1) 吉野警察署 (2) 保護者、地域住民の方々
地域と共有している目標・課題等	障害のある子どもの自立と社会参加を促進するとともに、社会を構成する様々な人々と共に助け合い支え合って学ぶ場とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>(1) 秋の交通安全運動に関連し、児童生徒が交通安全ストラップを手作りした。吉野警察署で配布依頼式を実施、生徒会役員が警察署前を通るドライバーに交通安全を呼びかけながら手渡しした。</p> <p>(2) 本校の教育活動の理解促進を図るため、児童生徒の活動の成果として、体育大会のスローガンを記した垂れ幕を作製して展示した。</p>	

2. 事業の成果と課題

(1) 台紙にイラストを描いたり、シールを貼り付けたりした。ラミネートしてパンチで穴をあけてストラップ金具を付け、交通安全ストラップを手作りした。配布依頼式では、警察官との対面で生徒の交通安全運動への意識を高めることができた。
(2) 体育大会のスローガンを使った垂れ幕を製作する活動を通して、友だちと分担したり違った意見を受け入れたりするなどの姿が見られた。全校的な行事で使う垂れ幕を作ることで、「みんなのために」という意識を高めながら製作に取り組むことができた。

